

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月17日 更新

事務事業名		農業委員会運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5 都市基盤の健康				所属部	農業委員会	課長名	森山 邦彦
	施策	23 計画的な土地利用の推進				所属課	農業委員会	担当者名	衛藤 文明
	施策の柱	65 計画的な市街地の形成				所属班	農地班	(内線)	1182
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 1	事業連番 10179	根拠法令 農地法	成果優先度評価結果	⑫
								コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	◎定例会(毎月)開催し、農地法に定めた議案を審議する。S26年に農地法が施行され、本委員会が発足した。農業従事者の高齢化や農業後継者不足及び安部総理のTPP交渉参加表明など、農業をとりまく環境は、厳しくなっている。また、権限委譲により農地法第4条及び第5条の県知事許可分(3,000㎡未満)がH28.10から市農委での許可となった。3,000㎡を超える転用については、毎月20日前後に開催される県農業会議主催の常設審議委員会へ諮問し許可となる。 ◎農業協同組合法等の一部を改正する等の法律及び農業委員会等に関する法律が一部改正に伴い、農業委員の選出が、公選制が廃止から市長の選任制に改正され議会の同意によることになった。また、農業委員のほか、新たに農地利用最適化推進委員が新設された。
【業務の流れ】	借り手からの相談、権利関係の確認、申請書の受付、現地調査、議案書作成・配付、農業委員会の開催、議事録作成、意見書の作成、県農業会主催の常設審議委員会への諮問
【主な予算費目】	委員報酬・給料・職員手当等・共済費・旅費・交際費・需用費・役務費・負担金補助金及び交付金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 定例会(毎月)を開催し、議案を審議		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 毎月の定例会を開催し、農地法に係る議案を審議する他に、平成28年4月から農業委員会の業務に位置付けられた「農地等の利用の最適化の推進」に係る活動を実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 総会開催数	回	農地利用最適化交付金交付による農業委員報酬の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
農地		→ ア: 農地面積
		→ イ: 農地面積
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
優良農地を確保でき、計画的な土地利用の推進が図れる。		→ ア: 許可件数(農地法第3条)
		→ イ: 許可件数(農地法第4・5条)
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
毎月の総会で申請された案件を適正に審議することにより優良農地が確保できる。許可された案件が適確に実施されることにより、計画的な土地利用の推進が図れるため。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標		回	12	12	13	13	12	12	13	12	
② 対象指標		㎡	22,650,545	22,473,659	22,420,000	22,295,706	22,370,000	22,330,000	22,300,000	22,270,000	
③ 成果指標		件	49	41	30	52	30	30	30	30	
		件	70	73	40	32	40	40	40	40	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	3,984	2,623	498	3,270	1,882	2,800	2,800	
		地方債	千円								
		その他	千円	90	155	90	122	90	90	90	
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	6,834	6,936	5,514	4,875	7,732	3,300	3,300	
		(A) 事業費計	千円	10,908	9,714	6,102	8,267	9,704	6,190	6,190	0
		(A)のうち指定経費	千円	7,151	7,059	3,756	6,350	6,591	3,800	3,800	0
	人件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	125	33	84	45	80	70	70	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	4,516	4,441	4,550	4,660	4,500	4,500	4,500	4,500
	(B) 人件費計		千円	17,991	16,489	18,127	0	17,928	17,928	17,928	17,928
トータルコスト(A)+(B)		千円	28,899	26,203	24,229	8,267	27,632	24,118	24,118	17,928	

事務事業名	農業委員会運営事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した 農業委員会を毎月開催し、適正に審議し、承認の上、許可された。 ☐ 達成しなかった ⇒ 【原因】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 農業委員が平成21年2月27日に改選され、農業委員会を毎月開催し、議案について、適正に審議する。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ 【理由】 農業委員会に関する法律より実施する事業であり、向上の余地は無い。 ☒ 向上余地がない ⇒ 【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 農業委員会に関する法律に基づくものであるため類似事業はない。 ☐ 他に手段がない ⇒ 【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 委員の報酬が、主なものであり、委員会の活動には、必要である。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 農業委員会に関する法律に基づくものであり、削減の余地は無く、個人情報も含まれるので外部委託はできない。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 市全体の土地利用には不可欠で公平公正である。 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 農業委員会に関する法律に基づくものであるため他に移行できない。 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

農業委員会を毎月開催し、議案について、適正に審議した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							